

しゃくじい
石神井池
水辺
しんぶん

No. 3
2022年3月

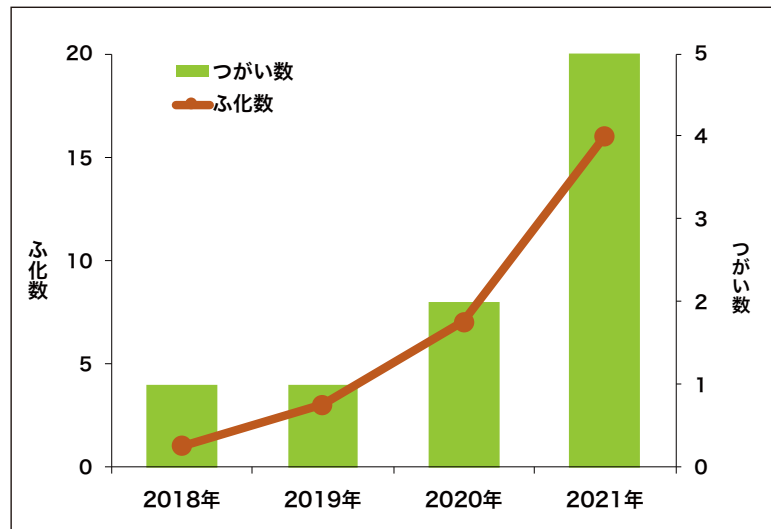
登録番号 (3) 3

発行
東京都東部公園緑地事務所
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/toubuk/index.html>

編集
認定 NPO 法人 生態工房
<https://www.eco-works.gr.jp/>

石神井池で増加！

すくすく育った カイツブリ



図・石神井池のカイツブリ営巣数の推移

石神井池で、「かいぼり」の後にカイツブリが増加しています。近年は2つがいが増殖していましたが、かいぼり後の2021年は5つがいが増加。繁殖期の初夏には、池のあちろこちらでカイツブリの親子連れが見られました。

カイツブリは小型の魚やエビなどを食べる水鳥です。オオクチバスなどの肉食性外来魚が増えた池では、小魚やエビが減少し、カイツブリが食物不足になって繁殖できなくなります。

石神井池では2021年1月～3月にかいぼりを行って外来魚を駆除したところ、春には在来種の魚やエビが繁殖し、たくさんのギンブナやスジエビの子ども

が確認されました。これらを食物にしているカイツブリは、それまでの2つがいから5つがいへと増加。2021年は計16羽のヒナが誕生しました。

春を迎えた石神井池では、カイツブリのつがいが増え、繁殖の準備を始めています。かいぼりで棲みややすくなった石神井池でのカイツブリの子育てを暖かく見守ってください。

お願い



抱卵中は神経質です。繁殖を妨害しないよう、巣から十分に離れたところで観察してください。




生まれて間もないぼわぼわのヒナと親鳥 (2021年5月)



ヒナに魚をあたえる親鳥 (2021年6月)

かいぼり後の外来種対策

かいぼりで水を抜くと、逃げ場をなくした外来魚を効果的に駆除することができます。しかしアメリカザリガニは、排水しても泥の中で待避するか、水の残っている箇所へ移動していくので、十分に駆除することができません。そのため石神井池では2021年からワナを使ったアメリカザリガニ駆除を行っています。

石神井池全域に約70個の捕獲ワナを設置し、ワナに入ったアメリカザリガニを毎週回収しました。この作業を5月から11月まで行い、大型個体を中心に計8909匹を回収しました。

アメリカザリガニはトンボ等の水生昆虫や貝類を捕食するほか、特に水草に大きな被害をおよぼし、水辺の生物多様性にダメージを与えます。2022年は捕獲ワナをさらに増やし、駆除圧を強めていく予定です。



ワナの回収作業



1日の作業で捕獲したアメリカザリガニ

ピックアップ! News

保全作業イベントを開催！石神井池キショウブ駆除の日

かいぼりをきっかけに、石神井池の自然を再生する定例活動が始まりました。2021年7月から毎月、地域団体と指定管理者などの協働により、外来植物駆除などの作業を行っています。

2月には一般参加の作業イベントも初開催。普段親しんでいる石神井公園に恩返しをしたいという人、在来植物や自然を回復させたい人など、やる気いっぱい17名の参加者と協働団体でキショウブ駆除をがんばりました。マット状に発達したキショウブの根をスコップで切り出し、公園サービスセンターが作業車でバックヤードへ運搬しました。2時間ほどの作業で、キショウブに覆われていた範囲に水面が広がりました。

2022年度は、さらにこうした機会を設けて水辺環境の回復を進めていきたいと思えます。



before



after

作業前後の様子。浅い水面が広がりました！



掘り取ったキショウブの山



おつかれさまでした！



マット状になったキショウブを掘り取ります